

私学ぐんま

31号
2022



男子サッカー部 インターハイ12大会ぶり2回目の優勝（前橋育英高等学校）

目次

● 理事長ご挨拶……………	2	● 私学教育～私の思い～……………	4～5
群馬県私学振興会理事長 野口 秀樹		● でーた いま……………	6
● TOPICS……………	2	● 私の薦めるこの一冊……………	7
私学経営研究会		● 表彰受賞者……………	8
私学振興講演会		● コラム……………	8
私立大学スポーツ大会		● 編集後記……………	8
● 特色ある私学教育……………	3		

理事長ご挨拶



公益財団法人群馬県私学振興会理事長 **野口 秀樹**

群馬県私学振興会は、県内の私立学校が学種の垣根を越えて相互に連携・協調して、加盟校に対する退職手当資金等給付事業、施設・設備整備資金融資あっせん事業、経営資金貸付事業、講演会開催等の公益目的事業を行い、県内私学教育の振興及び学校経営の近代化とともに、本県教育文化の向上に寄与してまいりました。特に、退職手当資金等給付事業については、登録教職員数が3,700名を超え、各学校の勤務条件の充実に重要な役割を果たしています。

国においては、学校法人制度のガバナンス改革の議論がなされ、「私立学校法改正法案骨子」が策定されました。学校法人における理事会、評議員会の地位及び監査体制の充実等について見直しが検討され、今後の学校運営にも大きな影響を及ぼすものと思われまます。

私学振興会においては、県内私学の振興と円滑な法人運営に寄与できるよう、役職員が一致協力して取り組んで参りますので、引き続き皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

TOPICS

私学経営研究会

令和元年に発足し、若手経営者等の交流、人材育成を目的に講演会の開催などを行ってききましたが、コロナ禍のため、令和2、3年度と休止のやむなきに至り、今年4月によりやく活動を再開しました。4月22日中央カレッジグループ本部で、テレビで活躍中のアンカンミンカンの富所哲平氏を講師に迎え、話題のSDGsについて、親しみやすい語り口でご講演いただきました。その後、付近の中央カレッジグループ各学校の施設を参加者全員で見学し情報交換を行いました。



私学振興講演会

今年度第1回の講演会は、「ハラスメント防止」をテーマに、群馬労働局の指導官を講師として、事前に講演の様態を録画し動画を配信する方式で実施しました。8月22日(月)～26日(金)の5日間、ユーチューブにて配信し、300を超える視聴数がありました。この講演会も、コロナ禍のため、令和2年1月に対面で開催したのを最後に、ここ4回続けて動画(ライブ)配信で行っています。アンケートでは、「具体的な事例に即した話で理解が深まった」という内容に関わる意見に加え、「都合のよい時間に視聴できた」、「今後も動画配信で続けてほしい」など、配信方式に肯定的な意見も目立ちました。

私立大学スポーツ大会

過去2年、コロナのため中止となりましたが、今年度は、10月29日～30日に、応援をなくして選手のみ参加とするなど、規模を縮小し、感染対策をとった上で、3会場で6競技を実施しました。幹事校である上武大学をはじめ競技担当の各大学のご協力により、コロナ禍のなか、無事開催することができました。



地域で活躍する人を育てるために ～コンピテンシー教育の実施～

関東学園大学

学長 齋藤大二郎



関東学園大学は、1924(大正13)年に創設された「関東高等女学校」が母体です。1976(昭和51)年に経済学部の単科大学「関東学園大学」として太田市で開学しました。以来98年、「敬和・温順・質実」という建学の精神のもと、地域社会に寄与する人材を育ててまいりました。教室で学問だけ学べばよかった時代はもはや過去のもの。地域社会や企業の課題にこたえ、行動できる人材が求められています。こうした優れた人材を送り出すために大学は何ができるのでしょうか？

この問いに対する本学の答えが2004年から全学をあげて取り組んできた**コンピテンシー教育**です。コンピテンシーとは「社会において高い成果を生み出している人の行動特性」です、要するに活躍している・貢献している人の行動特性（社会対応力）のことです。本学ではコンピテンシーを学生時代に身に着けておくべき6つの力——表現力、人との交流・協業、主体性・積極性、職業観・社会への関心、論理的思考力、リーダーシップ——にまとめ、教育プログラムとして整備・展開してきました。

大学4年間を通じ学生は経済学・経営学の専門教育の学びだけでなく、コンピテンシー向上につながる活動に取り組みます。特に重視しているのがフィールドワークや課題解決型学習(PBL)とよばれる、地域と連携したアクティブラーニングです。地元有力企業や各自治体が抱える経営課題や地域課題に協働して取り組み、解決のための提案やイベント企画・運営・支援活動などを行います。学生は対話と実践を通じ、実社会とつながることで、地域社会のニーズを身をもって知ります。場数を踏み自信とやりがい・学びがいを養い、地域に貢献する力

を獲得していくのです。

無論、順風満帆な学生ばかりではありません。ですが心配無用。本学では自分のレベルに合わせ、無理なく学べる独自のコンピテンシー・ディクショナリーを用意しています。これは6つのコンピテンシーの行動特性と具体例を7段階で表した成果指標です。この指標により、学生は到達点を確認できるだけでなく、指導教員からの確かな助言を通じ、自身を客観的に評価し、目標達成を意識します。卒業生は行政、警察、消防、金融、製造、商社、卸小売、不動産、JAなどを舞台に、地域社会で着実に活躍しています。こうした活躍はフィールドワークはもとより、プロジェクト型授業、キャリア教育、インターンシップなどの実践的な学びがあつてこそのもものと確信しています。関東学園大学はこれからも地域社会の要望に応えうる人材を育ててまいります。



学びの自由とビジネスの自由を私学で

高崎商科大学・高崎商科大学短期大学部 副学長 築 雅之



高校時代に英語の授業で「私立学校」や「私企業・民間企業」が「private」と表現されることに違和感を持ったことがあった。学校も会社も規模が大きく組織も整備され、むしろ「公」の領域に感じられたからなのだろう。後に創業者の名を冠した企業の多彩な歴史を知り、民間企業がリスクを取って自由な経済活動を行なうことがイノベーションを生み社会を豊かにしてきたことを学び、また、創立者が私財を投じて設立した学校に志や美風が脈々と受け継がれていることを体験して、「私」の意義を考えるようになった。他にしばられない企業活動や教育・研究活動を支えるのが「私」であり、その自由には厳しさと責任が伴うことも。

高崎商科大学は、私企業と現代的なビジネスのダイナミズムを主な教育・研究のフィールドとしている。先進的な企業とのコラボレーションや現役公認会計士による実務教

育を推進してきた。プロの厳しい眼のもとで課題解決のための自由な発想と確実な遂行力が求められることで学生たちは見違えるほどの成長を遂げている。

また、私学として「自主・自立」の建学の精神を掲げてきた。この創立者の言葉に学生の経済的な自立や本学らしい研究、大学組織の自主・自立など、様々な思いも込めてきた。情報やリベラルアーツ教育を強化したのも、自ら考え判断し、行動を選択する自由を得てほしいからである。

2つの「私」が交わる大学が、どのように変わってゆくのかわ、私自身がどのように携ってゆけるのか悩ましくも楽しい日々である。



私学
～私の

生徒主体の学校運営を理想として

桐生第一高等学校 校長 味戸 克之



このコロナ禍の中、2022年度は3年ぶりに文化祭を開催することになりました。ただ、今回の文化祭は、今までと全く違ったものになりました。それは、「教員主体」から「生徒主体」に変わったことです。

生徒たちは、生徒会を中心に「どのように文化祭を盛り上げようか。」「どのようなルールで運営しようか。」「コロナ対策はどうしようか。」「外部の一般のお客さんはどうしようか。」と、毎日のように話し合っていました。そして、生徒たち自ら、結論を出し、それを実行するための方策まで考えました。たとえば、「各クラスの出し物で優秀なものには賞を出す。」「携帯電話は人の迷惑にならないように使用する。生徒会を中心に巡視し注意する。」「飲食は指定された場所とする。」「保護者のみ入場を認め、人数制限のためチケットを配布する。」などです。そして、生徒会の代表生徒が職

員朝礼終了後に、職員室の先生方の前で決定した内容を発表すると、自然と賛同の拍手が起きました。その光景には、何とも言えない満足感と微笑ましさを感じました。

生徒主体の学校運営は、まだまだ、心配な面がたくさんありますが、何かのときに、思い切って、任せてみることも必要だと思います。横道に逸れることもあると思いますが、そのときは、教員が助ければいいのです。理想論などは充分に分かっていますが、生徒たちは、先生方が思っていた以上に力を発揮するものです。



人生100年
パートナー

野村証券株式会社

いっしょに、明日のこと。
Share the Future



SMBC日興証券

古き佳き習慣を伝えて

こだま幼稚園 園長 北村 久美子



かつて日本では、親が子供に3つの習慣をつけたら責務は果たせたと考えていたものがあります。それは、「自から進んで挨拶する」、「返事は明るくハイとする」、「靴を揃える(椅子をしまう)」の3つです。

自分から進んで挨拶する習慣から、積極的に生きる姿勢が育まれます。前向きに物事に取り組み、人生を自らのものとして生きていく姿勢です。

ハイという返事は、素直な心を育みます。素直な人は、勉学でも仕事でも身につけることが容易です。日本人がとても大事にしている心構えです。

靴を揃えるのは、自分の行いを振り返る習慣に繋がります。物事を進める中で、自らを振り返り反省することで、新たな視点に出会い、失敗を軽減できます。

前向き・素直・振り返りを大事にしてきた日本人

らしい習慣ですね。今は家庭内で重視されなくなりましたが、当園では、腰骨をしっかりと立てる「立腰」を加えた4つの習慣として園児達と実践しています。そうすることで、場の雰囲気良くなり、園児達は、気持ちよく生活できるようです。多くの事柄に積極的に活動し、どんどんと素直に吸収できるので、「やればできる」と自信になっていきます。お互いを認め、協力し合える仲間が育ちます。

佳き習慣は、生きる姿勢を育みますので、大事に伝えていきたいと願っています。



「即戦力」を目標に

東日本栄養医薬専門学校 校長 武井 宣之



専門学校はよく「即戦力」というキーワードを使います。私自身も専門学校で仕事をしている中で、常に即戦力になりうる学生を一人でも多く養成し卒業させるよう心がけています。

現在私が所属する東日本栄養医薬専門学校には、栄養士学科と医薬学科という2つの学科が

あり、栄養士学科では栄養士、医薬学科では登録販売者という資格取得を目標としています。この一見全く異なる学科には、一つだけ共通しているものがあります。それは即戦力を養成するために学外への研修に出すことです。学内で基礎的な学習を終えた後一定期間外部の企業をお願いをして受け入れていただきます。当然のことですが研修前の学生たちは初めての経験のためか不安そうな顔をして準備をします。しかし、研修を終えて戻ってきた学生たちは、「大変だった」「忙しかった」「やれることが少なく暇だった」な

ど様々な感想を持って帰ってきます。帰ってきた学生たちに共通していることは、やり終えた安堵感と達成感に満ちた顔に変わっているように見えます。学生たちは学内で得ることのできない「何か」を得て一回り成長していることに喜びを感じています。

コロナ禍の現在、受け入れていただける企業が少なくなり実務を経験できる環境を整えにくくコロナ以前のようにはいきませんが、それでも「即戦力」を目標に今後も指導を続けて行きたいと思います。

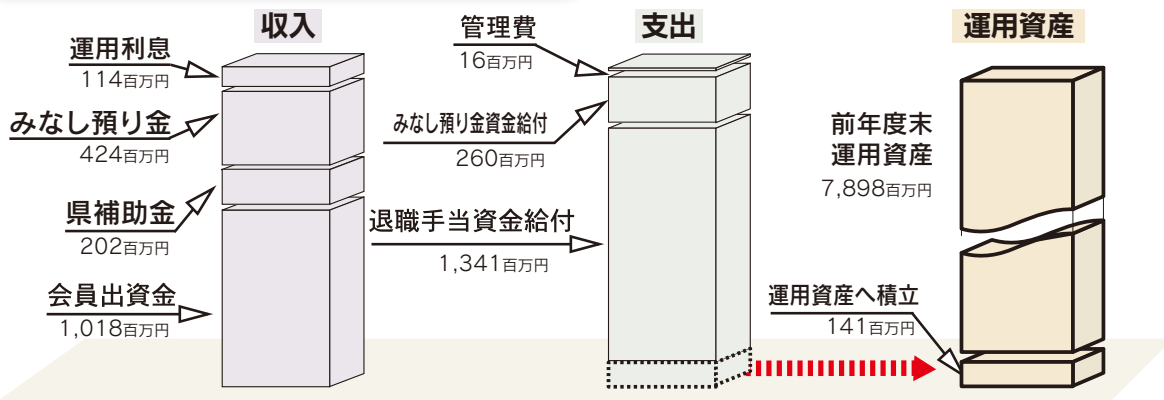


MUFG 三菱UFJモルガン・スタンレー証券

MIZUHO みずほ証券

令和3年度
[退職事業]

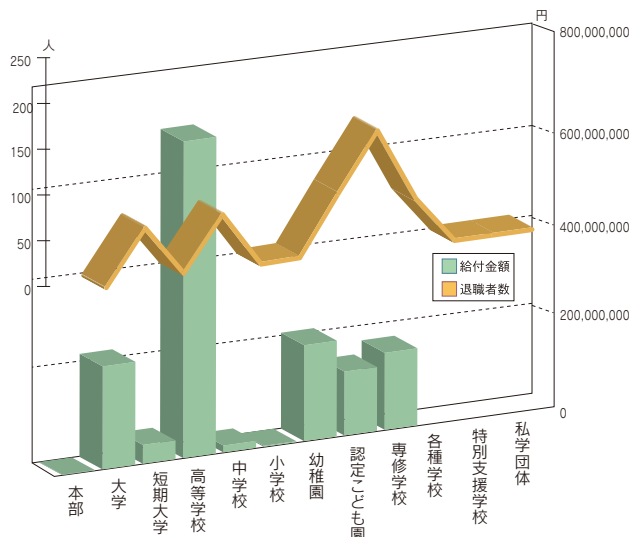
決算と基金造成の状況



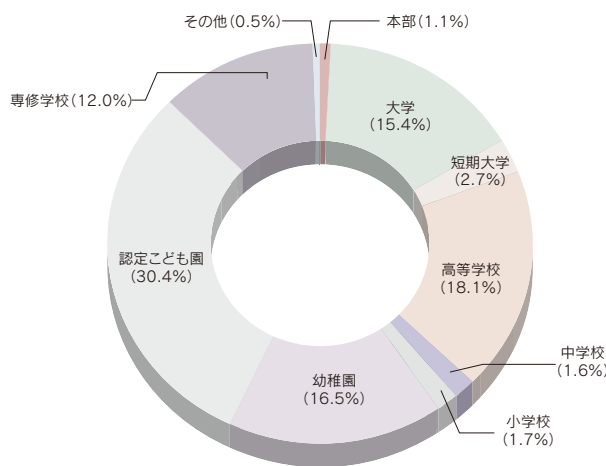
収入 1,758百万円 - 支出 1,617百万円 = 運用資産へ積立 141百万円
 出資金・補助金・利息等 退職手当・管理費等 将来の給付に備え基金造成
 年度末運用資産額 8,039百万円

退職手当資金給付制度は、毎月の会員（学校）から納入された出資金と毎年交付される県の補助金を原資に、教職員が退職したときに支給される退職手当の資金を、会員（学校）に給付する制度です。

学種別退職者数と退職金資金給付額



学種別登録教職員数



令和3年度 学種別会員学校教職員数・退職手当資金給付状況

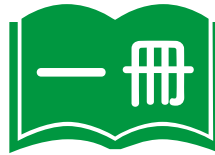
学種	学校数(本部除く)	教職員数	退職者	給付金額
本部	(11)	41	2	1,004,400
大学	7	589	63	208,429,342 ※
短期大学	6	105	6	38,226,627
高等学校	13	693	66	640,600,705
中学校	5	60	4	13,961,576
小学校	2	66	5	1,951,045
幼稚園	49	633	72	193,967,503
認定こども園 (新制度/社福立を含む。)	64	1,167	136	129,235,466
専修学校	45	461	53	155,685,624
各種学校	3	0	—	—
特別支援学校	1	14	0	0
私学団体	4	5	0	0
合計	199	3,834	407	1,383,062,288

※死亡退職者（弔慰金）：1名（30,000円）

大和証券
Daiwa Securities

Asahi Printing Industry **朝日印刷工業株式会社**

私の薦めるこの



本を読むと脳が活性化するそうです！
どうぞお役立てくださいませ。

パラリンピックブレイン

／中澤公孝(著)

東京大学出版会



上武大学ビジネス情報学部
教授 井田 博史

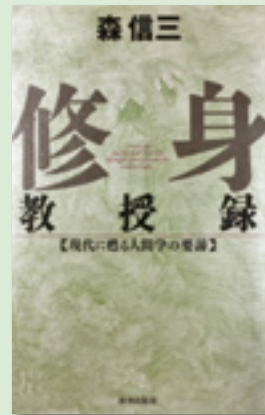


リハビリテーション科学の研究者である中澤氏が、研究仲間と解明してきたパラリンピアン脳の関する発見を分かりやすく解説します。氏自身が何度も感じてきた脳の機能の「面白さ」、そして「人間って凄い！」を感じられる一冊です。

修身教授録

／森 信三(著)

致知出版社



東京農業大学第二高等学校
校長 加藤 秀隆



戦前に天王寺師範学校で行われた森信三先生の修身の授業を生徒が書き記した講義録。これから教師を目指す若者たちに向けた森先生の授業は、現代に生きる私たちにも「人生の生き方」を教えてください。続編も併せて傍らに置いている本です。

ゴーマニズム宣言 SPECIAL 昭和天皇論

／小林よしのり(著)

幻冬舎



こひつじ幼稚園
園長 茂木 直



かつて日本が行っていた戦争を終わらせることがいかに困難であったか。歴史を大きく変える1日があった事をドラマチックに描いています。コロナ政策も戦争に似ています。いつ、だれが終わらせてくれるのでしょうか。本書はマンガですが、日本のマンガからは学べるものが沢山あります。

心に染み入る日本の美しい大和言葉

／高橋こうじ(著)

実業之日本社



学校法人有坂中央学園
専務執行役 中島 美保



大和言葉とは日本の風土の中で生まれた言葉であり、私たちの先祖が創り出した日本固有の言葉です。その大和言葉の例文を美しい挿絵とともに紹介し、とても読みやすい構成となっています。日本語が大きく変化している今の時代に必要の一冊です。

表彰受賞者

受賞おめでとうございます

県功労者表彰

鈴木 利定 (昌賢学園理事長・群馬医療福祉大学 学長)

群馬県私立学校教員等永年勤続者顕彰

原口 秀樹 (前橋育英高等学校 教諭)

豊田 正徳 (桐生第一高等学校 教諭)

澤野 聡 (前橋育英高等学校 教諭)

飯田 豊 (樹徳高等学校 教諭)

二宮 寛介 (高崎商科大学附属高等学校 教諭)

戸室 雄一 (樹徳高等学校 教諭)

山澤 和明 (東京農業大学第二高等学校 教諭)

青山 正伸 (樹徳高等学校 職員)

久保田 貢 (東京農業大学第二高等学校 教諭)

折原ヒサ子 (常磐高等学校 教諭)

清水 豪 (高崎健康福祉大学高崎高等学校 教諭)

海田 等子 (関東学園大学附属高等学校 教諭)

ショート
コラム

晩秋の夕景に 思う



春夏秋冬どの季節もその季節のよさがある。しかし晩秋の夕景は殊に心に沁みいりやすい。それは日一日と寒々とした冬に入るのを肌で感じ、自然の変化も目で認められるからだ。落葉樹の葉は落ち、風も冷たく強く吹く。「からっ風」が吹いた時には、冬に突入したと言える。ウインタースポーツをやる人以外、積極的に冬を好きという人は少なからう。

しかし、冬こそが来年に向けての大事な準備期間。自然は寒さに耐えながらも春の芽生え、夏の成長、秋の実りの準備をこの冬にする。一見すると外はただの葉の落ちた木かも知れないが、内には新しい年に向け力を蓄えている。

力を蓄えるべきこの冬にどう過ごすかが、来年の自分自身を決めていると言っても過言ではなからう。
(鈴木 利定)

編集 後記

令和4年度日本各地で、様々な祭りや催し物が久しぶりに実施されています。感染対策を施してという条件の下です。

それらの祭りや催し物には起源があり、永く続くことにより地域社会の伝統行事になります。近年「継続」することの困難さ・大切さを感じています。

猛暑から急に涼しくなりました。秋の存在が短くなっているような気がします。今年は伝統行事に参加したり、観たりして久しぶりにゆったりした気分になりたいです。(蜂須賀和夫)

公益財団法人 群馬県私学振興会

理事長 野口秀樹

広報委員会

鈴木利定・鈴木良幸・中島高久・蜂須賀和夫

〒371-0854

前橋市大渡町1丁目10番7号

群馬県公社総合ビル6階 私学センター内

TEL 027(255)6851 (振興事業)

027(280)6207 (退職事業)

FAX 027(280)6208

URL

<http://www.shigaku-gunma.or.jp>

令和4年12月発行

